

## 「(仮称) 王子動物園新獣舎他整備工事基本設計業務」

### 公募型簡易プロポーザルに関する総評

今回のプロポーザルでは、調査表提出者5者から意欲的な提案が寄せられ、二次審査（ヒアリング）での厳正な審査を経て、委託先候補事業者1者を特定しました。

本業務は、経年での獣舎等の老朽化に加え、利用者ニーズの多様化や技術の進歩などの社会情勢の変化に対応するため、施設を更新し、長く多くの人に愛される動物園を目指し、新獣舎等を整備するための設計を行うものです。プロポーザルでは、「動物福祉」・「飼育管理のしやすさ」・「施設利用者の満足度」を向上させるための、展示・観覧方法、機能面、また動物園内及び公園全体の景観上の配慮についての提案を求められました。また、動物園を運営しながらの施工について、工期短縮や周辺環境への配慮等具体的な計画・対策に関する考えを問うほか、提案を実現するために工事予算額内で実現する工夫や工事費の削減及び維持管理への配慮について提案を求められました。

特定された委託先候補事務所からは、立地特性を理解し、動物、来園者及び飼育員いずれの視点からもバランスのよい十分な検討による提案がなされました。

六甲山系を借景にしながらサバンナの情景や生息環境を再現する展示手法や動物の探索行動を誘発する手法を取り入れた生態にあった飼育環境の実現に加え、動物を見上げにより観覧することで動物のストレス低減にも配慮した動物福祉に対する理解度の高い提案がなされています。新獣舎の集約、コンパクト化により放飼場を最大限に確保するという明快なアプローチによりこれまでの動物園とは異なる空間構成を打ち出したこととあわせて高く評価されました。

また、獣舎移転による近隣住宅地への配慮や動物、来園者へ配慮した施工上の工夫、工期短縮に向けた具体的な提案がなされるなど立地特性と施工上の課題に対する十分な検討も評価されています。獣舎の集約、擬岩・檻など費用のかかる設備の縮減など、動物園の特殊性を熟知した工事費削減提案も評価されました。

課題を理解し、本業務に対する個別の検討が十分なされた的確な提案があり、設計体制において、構成員それぞれの役割が明確かつ総合的な体制が整えられており、ヒアリングでは、主任担当技術者をはじめとして、出席者すべてがそれぞれの立場からの明確で適切な回答があり、本業務への十分な理解及び豊富な知識並びに設計チームとしての一体感が感じられた点も評価のポイントとなりました。

2024年1月

神戸市建築工事設計監理外注委員会